平成28年度 事業報告

平成29年6月23日 社会福祉法人高知市社会福祉協議会

平成 28 年度 事業報告

I はじめに

今日の地域社会においては、少子・高齢社会が進行し、家族機能の低下や地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化しています。このような変化を背景とし、貧困、引きこもり、孤立、虐待、自殺、地域社会のつながりの希薄化等の生活課題が広がりを見せています。

こうした中、本協議会では、全ての職員が制度の枠や既成概念にとらわれることなく課題を抱える住民一人ひとりに誠実に対応するとともに、良質な介護・福祉サービスの実施や地域住民主体の新たな支え合いの仕組みの構築をめざした地域づくりに取り組みました。

Ⅱ 重点項目

1. 社協運営、経営基盤の確立

法人としての経営意識の向上を目的として、継続して取り組んできた自主事業や介護保険事業、補助・受託事業等を経営的視点から検証・見直しを行うとともに、職員の能力と意欲の向上をめざして、職員による職員のための研修等を継続的に実施しました。

また、平成29年4月から実施される社会福祉法人制度改革に対応するため、特にガバナンス強化、事業運営の透明性の向上を図りました。

2. 地域福祉活動推進計画を柱とした地域福祉活動の推進

「地域福祉活動推進計画」中間評価を受けて「おたがいさまの住民意識づくり」「小地域での支え合い活動の推進とニーズの早期発見」「地域福祉を推進するための体制基盤づくり」が後期の重点項目として挙げられました。

ふれあい体験学習やほおっちょけん学習などの年齢に応じた福祉教育を通して思いやりの気持ちの啓発、おたがいさまの意識づくりの醸成に取り組む中で、住民同士の交流と関係機関との協働のきっかけづくりができました。

地域をステージとした行政各部署の施策に対する理解を深め、担当課と協働することによって地域住民に対して大きな負担感を感じさせない地域づくりを支援するという目的のため、横断的な連携を図るよう努めてきました。

また、地域において経済的、人間関係等にさまざまな困りごとを抱える地域住民に対して住民自らが課題の発見ができるような関わりが持てるよう、地域福祉コーディネーターの資質向上に努めるとともに、ボランティア活動者同士のつながりとそこから発生する活動の幅の拡がりや人材発掘につながるよう、ボランティアセンター機能の強化に努めました。

3. 権利擁護機能・総合相談支援機能の確立

成年後見事業,日常生活自立支援事業,生活福祉資金貸付事業,障害者相談支援事業, 生活困窮者自立支援事業,一時生活支援事業等を一体的に展開することにより,総合的 な権利擁護機能の確立と既存制度活用に留まらない総合的な相談窓口としての機能の 充実に努めました。

上記事業間の連携はもとより、同一フロア内にある地域協働課や各センターで実施している介護・障害サービス事業所と連携を図り、地域で生活課題を抱えた方の課題解決に向けて適切かつ円滑な支援を実施しました。

また、各事業に寄せられる相談や支援から見えてきた課題について、個別支援に留まらず社会全体の課題として捉え、これらを解決するためにこれからあんしんサポート事業の開始に向けた準備を行いました。

4. 在宅福祉サービス・障害サービス等の経営基盤強化

良質な福祉・介護サービスを担う人材の確保・育成に努め、質の高いサービスの提供 を行うとともに、社会福祉法人である本協議会の持つ役割を踏まえ、地域活動に貢献す べく鋭意取り組みました。

Ⅲ 実施事業概要

1. 組織経営管理体制の整備推進

- (1) 理事会, 評議員会及び評議員選任委員会の開催
 - ① 理事会・評議員会を下記のとおり開催した。

◆理事会

年月日	回	付議(議決)議案			
H28. 5. 30	168	(議案事項)			
		1 平成27年度事業報告について			
		2 平成27年度収入支出決算について			
		3 平成27年度収入支出補正予算について			
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正について			
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正について			
		6 評議員の選任替えについて			
		(報告事項)			
		1 高知市地域福祉活動推進計画の中間評価について			
H28. 9. 2	169	(議案事項)			
		1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款の一部改正について			
		2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパー			
		ステーション運営規程(訪問介護)及び社会福祉法人高知市社会福			
		祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパーステーション運営規程(介護			
		予防訪問介護)の一部改正について			
		3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会館指			
		定訪問介護事業所運営規程(訪問介護)及び社会福祉法人高知市社			
		会福祉協議会介護センターあじさい会館指定訪問介護事業所運営規			
		程(介護予防訪問介護)の一部改正について			
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパー			
		ステーション運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業における			
		指定第1号訪問事業「訪問型サービス」)の制定について			
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会館指			
		定訪問介護事業所運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業にお			
		ける指定第1号訪問事業「訪問型サービス」)の制定について			
		6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定通所介護事業所デイサー			
		ビスセンターふれあい運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業			
		における指定第1号通所事業「通所型サービス」)の制定について			
		7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定通所介護事業所土佐山デ			
		イサービスセンター運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業に			
		おける指定第1号通所事業「通所型サービス」)の制定について			

年月日	回	付議(議決)議案
		8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会館指定通所介護事業所運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業「通所型サービス」)の制定について 9 平成28年度収入支出補正予算について 10 評議員の選任替えについて (報告事項) 1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正についての会長専決処分の報告 (その他の事項)
H28. 11. 16	170	1 社会福祉法人制度改革について (議案事項) 1 評議員・理事・監事の定数等見直しについて 2 高知市社会福祉協議会副会長定数の見直しについて 3 評議員選任委員会委員定数等について
H28. 11. 29	171	(議案事項) 1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款の全部改正について 2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一部改正について 3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会再雇用職員就業規則の一部改正について 4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパーステーション運営規程(訪問介護)等の一部改正について
H28. 12. 16	172	(議案事項)1 評議員の選任替えについて(報告事項)1 新サービス(仮称: あんしんサポート事業)の創設に向けて
H29. 1. 12	173	(議案事項) 1 副会長の選任について 2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等選任基準の全部改正について 3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等の報酬及び旅費等に関する規程の一部改正について

年月日	回	付議(議決)議案				
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会会員及び会費規程の一部改正				
		について				
		6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正について				
		7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会ヘルパーステーション移動支				
		援事業運営規程及び社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護セン				
		ターあじさい会館移動支援事業所運営規程の一部改正について				
		8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会ヘルパーステーション生活サ				
		ポート事業運営規程の廃止について				
		9 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定居宅介護等事業所運営規				
		程及び社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会				
		館指定居宅介護等事業所運営規程の一部改正について				
		10 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定就労継続支援B型事業				
		所きずな運営規程の一部改正について				
		11 社会福祉法人高知市社会福祉協議会評議員選任委員会運営細則				
		の制定について				
		12 評議員選任委員会委員の選任について				
		13 評議員選任候補者の選任について				
		14 評議員選任委員会の招集及び開催について				
		15 平成28年度収入支出補正予算について (業安東項)				
H29. 3. 28	174	(議案事項)				
		1 平成29年度事業計画について				
		2 平成29年度収入支出予算について				
		3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款の一部改正について				
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等の報酬及び旅費等に関				
		する規程の一部改正について				
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一部改正について				
		前以正について 6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則施行				
		の 社会領征伝入局が印任会領征協議会職員の指字に関する規則施行 細則の一部改正について				
		正について				
		8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正について				
		9 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正について				
		10 平成28年度収入支出補正予算について				
		(報告事項)				
		1 評議員の選任結果について				
		2 社会福祉充実計画について				

◆評議員会

年月日	回	付議(議決)議案
H28. 5. 30	126	(議案事項)
		1 平成27年度事業報告について
		2 平成27年度収入支出決算について
		3 平成27年度収入支出補正予算について
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
		(報告事項)
		1 高知市地域福祉活動推進計画の中間評価について
H28. 9. 2	127	(議案事項)
		1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款の一部改正について
		2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパー
		ステーション運営規程(訪問介護)及び社会福祉法人高知市社会福
		祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパーステーション運営規程(介護
		予防訪問介護)の一部改正について
		3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会館指
		定訪問介護事業所運営規程(訪問介護)及び社会福祉法人高知市社
		会福祉協議会介護センターあじさい会館指定訪問介護事業所運営規
		程(介護予防訪問介護)の一部改正
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパー
		ステーション運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業における
		指定第1号訪問事業「訪問型サービス」)の制定について
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会館指
		定訪問介護事業所運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業にお
		ける指定第1号訪問事業「訪問型サービス」)の制定について
		6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定通所介護事業所デイサー
		ビスセンターふれあい運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業
		における指定第1号通所事業「通所型サービス」)の制定について
		7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定通所介護事業所土佐山デ
		イサービスセンター運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業に
		おける指定第1号通所事業「通所型サービス」)の制定について
		8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会館指
		定通所介護事業所運営規程(介護予防・日常生活支援総合事業にお
		ける指定第1号通所事業「通所型サービス」)の制定について
		9 平成28年度収入支出補正予算について
		10 理事の選任替えについて

年月日	回	付議(議決)議案					
		(報告事項)					
		1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正について					
		の会長専決処分の報告					
		(その他の事項)					
		1 社会福祉法人制度改革について					
Н28. 11. 29	128	(議案事項)					
		1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款の全部改正について					
		2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一					
		部改正について					
		3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会再雇用職員就業規則の一部改					
		正について					
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規					
		則の一部改正について					
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定訪問介護事業所ヘルパー					
		ステーション運営規程(訪問介護)等の一部改正について					
Н28. 12. 16	129	(議案事項)					
		1 理事の選任替えについて					
		(報告事項)					
		1 新サービス(仮称:あんしんサポート事業)の創設に向けて					
H29. 1. 12	130	(議案事項)					
		1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等選任基準の全部改正に					
		ついて					
		2 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正につ					
		3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等の報酬及び旅費等に関					
		する規程の一部改正について					
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会会員及び会費規程の一部改正					
		について					
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正について 6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会へルパーステーション移動支					
		援事業運営規程及び社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護セン					
		後事来連呂风住及い社云福祉伝入局和川社云福祉協議云川護セン					
		7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会へルパーステーション生活サ					
		ポート事業運営規程の廃止について					
		8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定居宅介護等事業所運営規					
		程及び社会福祉法人高知市社会福祉協議会介護センターあじさい会					
		館指定居宅介護等事業所運営規程の一部改正について					

年月日	回	付議(議決)議案
		9 社会福祉法人高知市社会福祉協議会指定就労継続支援B型事業所
		きずな運営規程の一部改正について
		10 平成28年度収入支出補正予算について
		(報告事項)
		1 社会福祉法人高知市社会福祉協議会評議員選任委員会運営細則の
		制定について
		2 評議員選任委員会委員の選任について
H29. 3. 28	131	1 平成29年度事業計画について
		2 平成29年度収入支出予算について
		3 社会福祉法人高知市社会福祉協議会定款の一部改正について
		4 社会福祉法人高知市社会福祉協議会役員等の報酬及び旅費等に関
		する規程の一部改正について
		5 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一
		部改正について
		6 社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員の給与に関する規則施行
		細則の一部改正について
		7 社会福祉法人高知市社会福祉協議会再雇用職員就業規則の一部改
		正について
		8 社会福祉法人高知市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
		9 社会福祉法人高知市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
		10 平成28年度収入支出補正予算について
		11 監事の選任替えについて
		(報告事項)
		1 評議員の選任結果について
		2 社会福祉充実計画について

② 評議員選任委員会を下記のとおり開催した。

年月日	回	付議(議決)議案
H29. 1. 31	1	1 委員長の選任について
		2 評議員の選任について

※ 開催場所は、理事会・評議員会・評議員選任委員会とも高知市保健福祉センター

(2) 委員会等の開催

名士チャリティ色紙展示即売会収益金配分委員会・高知市社会福祉協議会会長表彰表彰者選定委員会・高知市社会福祉大会準備会・高知市成年後見サポートセンター運営委員会・高知市生活支援相談センター運営委員会等を開催し、事業の適切な運営に努めた。

(3) 経営管理体制の整備

① 事業評価の実施、事業ごとの経過、現状、課題及び方針の確認

毎月の実績報告や予算査定を通じて事業評価や、コスト把握及び見直しを行った。また、 各事業の現状と課題について検討するため「事業評価シート」を試行的に実施した。

② 経営のあり方検討委員会の運営

委嘱を受けた10名の職員が、高知市社会福祉協議会発展・強化計画(平成26年~30年)の中間年度として、PDCAサイクルに基づき発展・強化計画に掲げる具体項目を検証し、中間評価を行った。

③ 定款その他諸規程の整備

社会福祉法改正及び新規事業実施に伴い、定款及び諸規程の整備を行った。

(4) 財務管理運営の整備

① 自主財源の確保

◆特別賛助会員, 賛助会員の状況

左曲	E /\	# 4 4	特別責	∧ =1	
年度	区分	賛助会	個人	法人	合 計
28	加入者数	735	5	113	853
20	金額(円)	409, 500	12,000	537, 000	958, 500
27	加入者数	736	9	114	859
21	金額(円)	427, 000	27, 000	554, 000	1, 008, 000
26	加入者数	734	2	118	854
	金額(円)	416, 000	6,000	561,000	983, 000

◆寄附金の状況

年度	件数	金額(円)
28	19件	753, 454
27	13件	101, 781
26	4件	175, 900

[※] ほおっちょけん寄附金,まごころ銀行預託金を除く。

② 積極的な情報公開による透明性の確保

ホームページに本協議会の事業計画・事業報告及び予算・決算を掲載し、情報を開示した。

(5) 組織基盤の整備

① 職員の人事管理, 労務管理の適正化

ア. 適正な労務管理の実施

職員の資格取得を把握し人事管理に資するとともに、職員6名と産業医1名で構成された安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善に努めた。

② 人材育成

ア. 職員の資質向上のための自主勉強会の開催・各種研修会への参加促進, 助成

研修委員会等が全職員を対象に自主研修(次表)を企画実施した。また、実施に係る 費用の助成及び研修の充実に努めた。

年月日	研修名	企 画	参加人数
H28. 4.20	人権研修Iハラスメント研修	職員研修委員会	89名
	『知ろう!気付こう!言葉のキャッチボール』		09名
H28. 6. 7	第2回ファシリテーション研修	職員研修委員会	30名
H28. 7.15	災害ボランティアセンター運営研修及び災害支援の報告	災害対策検討委員会	88名
H28. 9.11	災害ボランティアセンター運営模擬訓練及びクロスロード	災害対策検討委員会	58名
H28. 10.25	コミュニケーション研修	職員研修委員会	44名
H28. 11.29	広報力は聞き出すチカラ・伝えるチカラ!	広報委員会	22名

イ. 研修委員会の機能強化

研修委員会が企画・立案した職員カフェ企画「café de ほおっちょけん」を実施し、職員同士の部門を越えた連携、コミュニケーションの基礎となる信頼関係を構築するためのきっかけづくりとした。



「café de ほおっちょけん」の様子

ウ. 「自己啓発カード」の導入

職員が自らの目標のために研修計画を立てる「自己啓発カード」を、全職員を対象に 実施し、職員の資質向上に努めた。「自己啓発カード」の実施により、職員が自らの目標を明確化し、目標に向けた研修を考えることができ、また、カードの計画をフォローする所属長と業務における認識を深めることができた。

(6) 指定管理業務の推進

① 指定管理施設の適正な管理運営

◆平成28年度貸出状況

+/-=	л. <i>Е</i>		有			料		4m. #1			= 1.
他言	施設名		頁有料	半	額免除	全客	頁免除	無	料		計
+n	件数·人数	81	1, 281	1	20	820	16, 274	2, 405	19, 180	3, 307	36, 755
東部	金額		297, 510		1, 550		0		0		299, 060
健康福祉	件数·人数	114	1, 739	1	28	869	17, 285	2, 149	18, 272	3, 133	37, 324
	金額		392, 070		1, 550		0		0		393, 620
	件数·人数	153	738	0	0	196	1, 586	2, 384	15, 787	2, 733	18, 111
南部 健康福祉	金額		178, 950		0		0		0		178, 950
世界価値	件数·人数	185	880	0	0	218	1, 315	2, 287	15, 546	2, 690	17, 741
	金額		244, 300		0		0		0		244, 300
	件数·人数	0	0	0	0	141	1, 416	447	6,613	588	8, 029
障害者福祉	金額		0		0		0		0		0
センター	件数·人数	0	0	0	0	89	1, 029	419	6, 474	508	7, 503
	金額		0		0		0		0		0
	件数·人数	0	0	0	0	4	140	0	0	4	140
土佐山 健康福祉	金 額		0		0		0		0		0
センター	件数·人数	0	0	0	0	12	329	0	0	12	329
	金 額		0		0		0		0		0
春野	件数・人数	43	345	0	0	180	3, 276	156	1,974	379	5, 595
あじさい	金 額		50,660		0		0		0		50,660
会館	件数·人数	10	83	0	0	170	3, 221	181	2, 016	361	5, 320
五品	金額		12, 200		0		0		0		12, 200
	件数·人数	277	2, 364	1	20	1, 341	22, 692	5, 392	43, 554	7, 011	68, 630
計	金額		527, 120		1, 550		0		0		528, 670
H1	件数·人数	309	2, 702	1	28	1, 358	23, 179	5, 036	42, 308	6, 704	68, 217
	金額		648, 570		1, 550		0		0		650, 120

[※]下段網掛けは、平成27年度

ア. 基本協定, 事業計画書に基づく適正な管理運営

法令や高知市の関係条例を遵守し、公共施設の管理運営業務の基本である公平性や平 等性の確保を行いながら、住民にとって更に利用しやすい施設となるよう努めた。

イ. 安全管理体制の強化及び利用者サービスの向上

各指定管理施設では、それぞれ年2回地震等による火災発生を想定した防災避難消防訓

練を行うなど、日ごろから施設の安全管理体制の強化を行った。さらに、日常点検により経年劣化に伴う修繕等に迅速に対応し、障害者、高齢者等の利便性向上を図った。 また、利用者サービス向上のため、接遇や気づきの職場マナーについての研修等、職員のスキルアップにつながる研修を積極的に行い、職場での実践に活かした。

ウ. 自主事業の実施

実施日	施設	内容	協力団体(組織)
		第1回 障害者福祉センター	高知県鍼灸マッサージ
		夏の文化祭(文化教室作品	師会等
H28. 8. 13, 14	障害者福祉センター	展、マッサージ体験、陶芸	
		絵付け体験, ヨーヨーつり	
		体験等)	
		おまわりさん劇団「南街奉	高知南警察署
H28. 10. 20	春野あじさい会館	行所」による悪徳商法・交	
		通安全等の公演	
		南海トラフ地震に備えた地	とさやま保育園, 土佐山
H28. 11. 14	土佐山健康福祉センター	域合同避難訓練	へき地診療所, 土佐山学
			舎
		高齢者への「特殊詐欺防止」	高知東警察署,交通安全
H29. 2. 28	東部健康福祉センター	及び「交通安全」について	母の会等
		の講座	
1190 9 10	声が健康短知みとなり	「南海トラフ地震に備え	高知市地域防災推進課
H29. 2. 18	南部健康福祉センター	る」地震防災講座	

エ. 経費の節減

施設の主要照明をLEDへ切替え経費節減を行った。

オ. 地域との連携事業の実施

春野あじさい会館では、高知市管轄の警察署と郵便局が取り組む事業、かもめ一る葉 書を利用した「振り込め詐欺・特殊詐欺」の啓発に協力した。

② 障害者支援窓口(土佐山健康福祉センターを除く)

障害者手帳や各種サービスの申請、受付、交付、相談を行った。

(7) 情報発信機能の強化

① 広報広聴機能の強化

ア. 「社協だより」の定期的な発行

年3回発行を年4回発行とし、情報発信の強化に努めた。

No.	発行月	内容
150 5 0	5月	平成28年度事業計画・収支予算,高知市生活支援相談センター・無料
152	5万	法律相談の紹介等
153	7月	平成27年度事業報告・収支決算,ふれあい夏祭りの広報,災害時にお
100	1/7	ける高知青年会議所との連携について、あんしんキットの紹介等
154	154	赤い羽根共同募金,介護予防・日常生活支援総合事業の説明,名士チャ
104	10月	リティ色紙展示即売会の紹介
155	55 1月	ひまわりプロジェクトの紹介、特別賛助会員加入のお礼、社会福祉大
		会の広報等

イ. ホームページ及びフェイスブックの有効活用

ホームページ及びフェイスブックを活用し、地区情報や本協議会事業の情報を発信した。

◆ホームページアクセス数

年度	アクセス数
28	105, 773
27	106, 641
26	87, 319

◆フェイスブック「いいね!」の数

「いいね!」の数(平成27年度より累計) 475

② 高知市社会福祉大会の住民参画拡大

高知市,高知市民生委員児童委員協議会連合会,高知市地区社会福祉協議会連合会との 共催により第56回大会を開催した。

- 〈期 日〉平成29年2月2日(木)
- 〈会場〉高知市文化プラザかるぽーと 大ホール
- 〈主 催〉高知市/高知市民生委員児童委員協議会連合会/高知市地区社会福祉協議会連合会/高知市社会福祉協議会
- 〈参加者〉福祉関係者及び関係団体等560名 (うち一般参加36名)
 - *大会テーマ 「子どもをはぐくむ地域のチカラ」
 - *基調講演 子どもをはぐくむ地域のチカラ
 - -山科醍醐こどものひろばの実践より-

NPO 法人山科醍醐こどものひろば 理事長 村井琢哉氏

- *実践発表 (1)漂う中高生に私たちができること
 - ~学校を生活と発達の支援の場に~ 太平洋学園高等学校 進路部長 藤田毅氏

(2) 子どもの居場所

~子どもを中心とした地域の居場所づくり~ NPO 法人 GIFT 事務局長 真鍋大輔氏

*表彰

- ・高知市長表彰 民生委員児童委員・主任児童委員(10年勤続) 17名
- · 高知市社会福祉大会大会長表彰 1名
- 高知市社会福祉協議会会長感謝状 3名

(8) 福祉人材の育成支援

① 各種実習生の受入, 指導, 助言

国家試験等の受験資格要件を満たすための実習生を受入れた。

区分	実人員	延日数
社会福祉士	10人	228 日
介護福祉士	6人	18日
看護師	8人	32日
合 計	24人	278日

2. 支え合いのあるまちづくりの推進

平成28年度は高知市地域福祉活動推進計画の中間見直しを踏まえ、新たに「小地域での支え合い活動の推進とニーズの早期発見」を重点項目に加えて、"こども"を中心とした活動の広がりや小地域での座談会の開催により、想いが「カタチ」になる取組を行うことができた。また、住民主体による地域福祉活動の推進をめざし、地域住民や行政、事業者等と協働した取組を進めることができた。

(1) 地域福祉活動推進計画の実践

① 小地域活動の推進

ア. 福祉委員制度の推進

地域福祉の新たな担い手として導入している「福祉委員制度」は、各地区社会福祉協議会(以下「地区社協」という)の実情に合わせることを基本に複数の地区で取り組まれている。福祉委員が最も多い地区においては、研修会にて「福祉委員制度について」のテーマで学習し、福祉委員の理解や協働の一歩となった。また福祉委員から民生委員児童委員につながり、専門機関へのスムーズな連携の結果、緊急対応が必要な高齢者の早期発見につながった事例もあった。地区社会福祉協議会連合会のブロック単位の情報交換会など、身近なエリアでの交流をきっかけに新たな福祉委員が少しずつ誕生している。福祉委員が地域で行われるサロンの手伝いなどの福祉活動やほおちょけん学習にも協力するなど、活動の場も広がってきている。

〈福祉委員数〉 7地区 101名

※内訳 旭=8名 江ノ口東=25名 北街=6名 鴨田=35名 長浜=4名 初月=5名 鏡=18名

年度	取組地区数	委員数
28	7	101
27	7	93
26	5	67

イ. サロン活動の開始及び継続支援

「居場所型見守り」としてのサロン活動の拡大及び継続のための支援を強化した。愛 岩商店街では、商店街の空事務所を使っていきいき百歳体操会場やサロンのほか、多世 代が交流できるスペースとして活用するため、準備段階から支援するなど地域で多世代 の住民の「居場所」となるサロンづくりについて、開始及び継続の支援を実施した。

〈住民主体の集いの場 箇所数〉

	①いきいき百歳体操	②子育て支援サークル	③子育てサロン	④サロン	⑤認知症カフェ・介護	⑥子ども食堂	⑦話合いの場
28 年度	347	19	12	56	18	13	5
27 年度	331	24	8	50	11	_	_
26 年度	319	24	8	43	3	1	

(平成29年3月末)

ウ. 救急医療情報キット(あんしんキット)導入地区の支援と配布後の継続的見守り活動

平成28年度は850本の導入を行い、更新のための 用紙や、新しく取り組むための説明資料の活用など 活動の展開が見られた。また、町内会・自治会単位 でも「あんしんキット」を導入する地区が増えてき ているが、配布のみで取組を終了させないよう、 導入後の医療情報等を更新することで見守り活動の 継続につなげる。



救急医療情報キット (あんしんキット)

	ULE 7	平成25年度	平成26年度	平成27年	平成28年
ブロック	地区名	配布数(対象者)	配布数(対象者)	配布数(対象者)	配布数(対象者)
	北街		180 (75歳以上の高齢者)		
	下知	18 (説明用サンプル)	220 (見守りを要する高齢者)		
	三里	20 (研修用)	300(80歳以上の独居高齢者及び夫婦2人		
	二生	20(柳修用)	世帯及び種崎地区認知症学習会参加者)		
東	五台山	20 (研修用)	520(主に65歳以上の高齢者, 各町内会で設定)	150 用紙のみ180枚 (65歳以上の高齢者)	
	布師田		300 (概ね75歳以上の高齢者や障害,虚 弱等配慮が必要と思われる世帯)		
	大津	621(77歳以上の高齢者)			
	旭		280 (上本宮町山手町内会・南町内会)	850 用紙のみ 1,260 枚 (旭町 2 丁目,上本宮町,中須賀町,旭ヶ 丘,大谷地区)	317 記入用紙 367 枚 説明用紙 367 枚 (東福井南町町内会)
西	朝倉	121 (大谷団地)	100 (若草南団地自治会)	140 用紙のみ170枚	293 記入用紙293枚 説明用紙363枚 (朝倉本町一丁目長道町内会, 奥/ 宮自治会, 長田団地町内会・船戸東 町内会, 大谷団地自治会)
	鴨田	2,000 (65 歳以上の独居高齢者)			THAT MEETINA
	1199 円				
	初月	1,000 (80 歳以上高齢者,71 歳以	190 (80歳以上の高齢者, 71歳以上の独		
	17373	上の独居高齢者,障害者)	居高齢者,障害者)		
	潮江				500 記入用紙50枚
	長浜		500 (主に65歳以上の高齢者各 町内会で設定)		
南	浦戸			280 用紙のみ260枚 (町内会で設定。概ね高齢者世 帯)	
	春野	1,000 (65歳以上の独居高齢者)			記入用紙200枚
	小高坂				10 (城北町町内会)
	高知街		345 (65歳以上の高齢者で民生委員が必要と判断した者)		
	江ノ口 東		530 (身体に不安のある独居及び高齢者 世帯)		
北	江ノ口		344 (宝町,中水道東町内会,洞ヶ島町 内会,愛宕2丁目西町内会)	101 (愛宕町3丁目, 愛宕町2丁目 東, 中水道の高齢で民生委員が必 要とした数)	30 (愛宕町周辺の民生委員が必要とした対象者)
	一宮		445 (75歳以上の独居高齢者)	370 (75歳以上以上独居高齢者)	
	秦	600 あんしんキット, 見守りカードの配布(独居高齢者)			
	合計	5, 400	4, 254 記入用紙850枚	1,891 記入用紙1,870枚	1,350 記入用紙910枚 説明用紙730枚

エ. 災害時避難行動要支援者個別計画策定に取り組む地区への支援

防災に関して積極的な町内会で住民同士が災害時要支援者に対応していくための意識づくりとして、住民に対して「助けられ上手」の講話を行った。また、具体的な防災課題と対応策を抽出する手法として、「支え合いマップづくり」を用いて、防災課題と地域福祉の課題について検討を行った。

② 地区社協をはじめとする地域団体支援と相互理解の促進

ア. 地区社協間の情報共有と連携体制づくり

高知市地区社会福祉協議会連合会が、全ての地区や地域福祉活動について情報発信、情報共有の場となるよう、事務局機能の強化を図り、本年度は「より身近な地域活動の情報共有」を主旨とした情報交換会を全ブロックで実施し、参加者の拡大に努めた。

【平成28年度 地区社会福祉協議会連合会会議・情報交換会等の開催状況】

事業等	内容	参加者数
平成 28 年度 講演会	・講演テーマ「楽しむチカラは地域のチカラ」	地区社協43名
(通算1回目)	~『私発』+タノシムココロ=地域のチカラ~	関係機関27名
H28. 4. 28 13 : 30~15 : 00	・講師: 畠中 洋行氏	
高知県立ふくし交流プラザ	地域福祉活動において、住民の「やりたい」気持	
5 階研修室 A	ちや自分自身が「楽しむ」ということを大事にして	
	いただきたいこと, 地域にあるたくさんの特技や社	
	会資源を併せ,繋がっていただきたいこと,みんな	
	に出番のあるまちづくりをめざす視点について	
第1回 総会(通算4回目)	·平成 28 年 4 月 1 日付高知市社会福祉協議会事務局	地区社協18名
H28. 4. 28 15: 15~16: 30	体制及び地域担当職員について	関係機関33名
高知県立ふくし交流プラザ	・地区社連規約の改正について	
5 階研修室 A	・平成27年度事業報告について	
	・平成27年度決算報告及び監査報告について	
	・平成28年度事業計画について	
	・平成28年度事業予算について	
	・地区社連事務局体制の変更について	
	・平成28年度先進地視察研修について	
	・地区社協活動助成事業及び福祉のまちづくり事業	
	について	
第1回 世話人会	・平成 28 年度地区社連講演会の実施報告について	世話人会 4 名
(通算 10 回目)	・平成 28 年度「東部ブロック」「北部ブロック」情	
H28. 6. 23 13:30~15:00	報交換会について	
ニッセイ高知ビル		
3 階北会議室		

事業等	内容	参加者数
北部ブロック情報交換会	・テーマ: 「タノシムチカラ ~あるものに気づこ	地区社協28名
(通算8回目)	う!~」	関係機関4名
H28. 8. 19 19:00~21:00	・地域にあるもの、大切にしてきたもの、あったら	
保健福祉センター 3階	いいなと思うもの等について語り合い、「地域のチ	
大会議室	カラ」を再発見した。	
東部ブロック情報交換会	・テーマ: 「タノシムチカラ ~祭~」	地区社協15名
(通算9回目)	・話題提供をもとに昔からどこでも開催されている	大学生 3名
H28. 8. 26 13:30~15:30	「まつり」について語り合い,「こどもからおと	関係機関30名
東部健康福祉センター3 階大	な」が集う地域の「良いところ」や「地域のチカ	
ホール	ラ」を再確認できた。また地域の「気になるとこ	
参加費 100円 (お茶菓子代)	ろ」についても意見が出され、困りごとに対する	
	今後の展開を話し合うきっかけとなった。	
第2回 世話人会	・平成 28 年度「西部ブロック」「南部ブロック」情	世話人会4名
(通算 11 回目)	報交換会について	
H28. 9. 5 13 : 30∼15 : 00	・平成28年度 先進地視察研修について	
ニッセイ高知ビル 3階 北会		
議室		
先進地視察研修	・岬町立多奈川地区小学校内「めだか組」見学交流	地区社協13名
H28.9.14~9.15 (1 泊 2 日)	・同敷地内にある保育所見学交流	市社協職員2
大阪府泉南郡岬町	・多奈川小学校長より学校紹介	名
	・多奈川地区校区福祉委員会より「めだか組」の取	
	組,活動紹介	
	・高知市の取組,地区活動紹介及び意見交換	
南部ブロック情報交換会	・テーマ:「タノシムチカラー~防災~」	地区社協7名
(通算 10 回目)	・南海中学校・潮江中学校の防災プロジェクトにス	中学生 13 名
H28. 10. 23 $10:00\sim12:00$	ポットをあて, 「災害においても強い地域である	関係機関7名
高知市立南海中学校 2階	ために、必要なことは何か?」について語り合った。	
大ホール	中学生と地域住民がともに考える防災には、「新	
	しい発想」と「これまでの経験」という2つの視	
	点で、わが町を考えるきっかけとなった。	
西部ブロック情報交換会	・テーマ: 「タノシムチカラ ~こどもがど真ん中	地区社協23名
(通算 11 回目)	~]	関係機関 4 名
H28. 10. 24 13:30~15:30	・「こども」に関する活動を紹介し、こどもの「魅力」	
西部健康福祉センター 2階	やこどもへの「想い」を語り合った。自分たちの	
多目的ホール	地域の「いま」と「これから」について話し合わ	
	れ、「こどもを育む地域のチカラ」を共有するきっ	
	かけとなった。	

事業等	内容	参加者数
第3回 世話人会	・平成28年度全体研修会について	世話人会 4 名
(通算 12 回目)	・平成 28 年度交流会について	
H28. 12. 5 13:30~15:00	・平成 29 年度行事予定(案)について	
ニッセイ高知ビル 3階		
北会議室		
全体研修会・交流会	・「日本国憲法と立憲主義国家の地域福祉活動〜国	<全体研修会>
(通算2回目)	が我々国民に対して果たすべき役割~」について	地区社協 51 名
H29. 1. 19	代表 長谷川 憲男	関係機関33名
高知オリエントホテル2階	・先進地視察研修報告について 副代表 川崎 洋輝	<交流会>
情報交換会 15:00~17:00	・情報交換会(4ブロック)の実施報告について	地区社協35名
交流会 17:30~19:30	・情報交換会のまとめ アドバイザー 畠中 洋行	関係機関11名
	氏	
	・平成29年度行事予定(案)について	
第4回 世話人会	・平成28年度臨時総会について	世話人会 3名
(通算 13 回目)	・福祉委員任期の取り扱いについて	
H29. 3. 2 13:30~15:00		
ニッセイ高知ビル		
2階 会議室		
臨時総会 (通算5回目)	・役員選任について	<臨時総会>
H29. 3. 24 15:30~17:30	・平成 29 年度事業計画(案)	地区社協23名
三翠園 1 階富士の間	・平成 29 年度事業予算(案)	関係機関20名
新体制決定後の交歓会	・平成 29 年度「地区社協活動助成事業」及び「福祉	<交歓会>
17:30~19:30	のまちづくり事業」について	地区社協15名
三翠園 1 階桜の間	・平成 29 年度「総会」「研修会」のご案内について	関係機関23名
	・福祉委員任期の取り扱いについて	

イ. 情報発信「NEWSほおっちょけん」の発行 (17 号~28 号) について

掲載内容の年間計画をたて、2カ月(奇数月)に1回、2号ずつ発行(のべ配布数 7,150) した。配布先については、各地区社協構成員や民生委員児童委員、福祉委員、気くばり さん等、地域の集いの場やイベント会場にて配布した。

主な内容としては、小地域福祉活動や地区社連ブロック別情報交換会、先進地視察研修、高知市社会福祉大会等の内容を掲載した。

ウ. 複数の部局にまたがる地域づくりによる地域の活動団体への負担軽減

高知市地域コミュニティ推進課と地域防災推進課,本協議会の三者の管理職で行ってきた防災福祉部会を,ブロックごとの担当者レベルで開催し,行政の複数の部局が実施する「地域づくり」を目的とした各課の動きや施策等について,お互いの活動を理解するための研修会や情報交換の場を作った。

エ. 地域支え合い会議の開催支援、小地域の個別支援における課題解決の仕組みづくり

小高坂地区において、平成25年度より地域支え合い会議を継続的に開催。平成28年度は、平成27年度からの取組内容を継続し、小高坂地区内を3つのブロックに分け、支え合い会議を開催。町内会毎に話し合いを実施し、住民計画の素案づくりに取り組んだ。さらに、新屋敷二丁目・桜馬場・八反町においては、計画の素案をもとに後日、町内会単位で話し合う機会を設け、各町内の課題への対応策を盛り込んだ町内会版の住民計画を策定し、平成29年度以降の具体的な取組の展開に向けて準備を進めている。また、他の町内会においても、平成29年度以降、順次、話し合いを進めていく予定となっている。

種崎地区では、平成 26 年度から地域で徘徊している高齢者の個別支援をきっかけに「地域全体の認知症に対する理解を深めたい」という思いの実現に向け、町内会連合会・ 津波防災検討会・民生委員児童委員と地域の中にある介護事業所等を巻き込みながら「わが町ならでは」の支援方法を検討し、具体的な取組を展開している。

平成28年度は、これまで実施してきた「認知症学習会」に加え、高知市初となる「認知症徘徊模擬訓練」を実施。平成27年度同様、実行委員会形式(町内会連合会・津波防災検討会・民生委員児童委員・老人クラブ・介護事業所・高知市高齢者支援センター・高知市高齢者支援センター出張所・高知市健康増進課・高知市社会福祉協議会)にて取組を実施することで、住民と専門職が協働した地域づくりを実践している。

オ. 地区社協, 民児協等の事業への協力(地区社協活動助成事業及び福祉のまちづくり事業)

高知市地域福祉活動推進計画を推進するため、地区社協に対して、福祉のまちづくり 事業と平成25年度から開始した地区社協活動助成事業(高知市地域福祉活動推進事業費 補助金と本協議会独自財源である地域貢献事業を原資とするもの)の助成を行っている。

【地区社協活動助成事業】

年度	申請地区数	助成金額
28	15	1,808,074円
27	15	2, 520, 545円
26	20	1,851,368円

○申請のあった助成金の主な内容

- *見守り体制の構築に係る費用(救急医療情報キット,見守り活動に使用するベスト)
- *拠点整備に係る費用(家賃・光熱水費,備品購入等)
- *知識,技術習得に係る費用(視察研修費 等)

【ふくしのまちづくり事業】

年度	申請地区数	助成金額
28	27	2,679,000円
27	26	2,560,000円
26	26	2,577,000円

- ○申請のあった助成金の主な内容
 - *高齢者への配食サービスに係る費用
 - *サロンの運営費等

③ 本協議会内の基盤体制の強化

ア. 地域支援事例検討会の実施

地域福祉コーディネーター,ボランティアセンター職員の資質向上を目的に,スーパーバイザーより助言をいただく地域支援事例検討会を計12回開催。

平成28年度は、職員の資質向上とともに社協内連携を図ることを目的に、本協議会内の各部署と協働し、個別支援事例を通じて、個別支援から地域支援への展開を検討する横断的な研修の機会とした。平成28年度実績については、下記のとおり。

開催日	内容
H28. 4.25	生活困窮の事例を通してCSWの果たすべき役割
H27. 5.23	薬物依存の方への支援
H28. 6.20	社協が後見人を務める事例を通してCSWの果たすべき役割
H28. 7.25	生活に困窮しているケースへの支援
H28. 8.22	障がい者支援を考える~本人が孤立しない支援とは~
H28. 9.26	小高坂地区における支え合いの取り組み
H28. 10. 28	種崎地区における小地域活動の取り組み
H28. 11. 25	旭オンリーワン芸術祭
H28. 12. 19	鏡地区における個別支援事例について
H29. 1.30	さんさんカフェ(認知症カフェ)の取り組みについて
H29. 2.27	潮江地区 竹島町町内会での取り組み
H29. 3.27	介良小学校3年生「ほおっちょけん学習」

イ. 組織内での地域福祉活動推進に関する情報の共有化

組織間での地域福祉活動に関する情報共有の場として、週1回、課長以上による定例会を開催。また組織を横断する委員で構成している「経営のあり方検討委員会」では、平成28年度は「高知市社会福祉協議会発展・強化計画」の中間評価を行うとともに部門間の具体的な事業や連携について検討した。

(2) 福祉教育の推進

① 「おたがいさま」の意識づくりの推進、出前講座の取り組み拡大

平成28年度は、地域福祉活動推進計画の中間評価を踏まえ「小地域」を意識した町内会 自治会程度のエリアにおいて、住民や専門職を交え「支え合いマップ」や「おたがいさま のまちづくり」の講話を実施した。また、本協議会職員を講師とした地域福祉、成年後見、 介護、障がい等に関する「出前講座」に取り組み、依頼のあった地区において実施した。

◇支え合いマップづくり(全6回)

- ・南平台(三里)にて、地域の専門職と協働しマップづくりからサロンづくりの取組 ◇おたがいさまの住民意識を育てる啓発活動(全59回)
- ・地区社協や民児協の定例会や研修会での講話
- ・認知症サポーター養成講座と連動し、地域住民、学生、高知医療生活協同組合や企業(コンビニエンスストア)を対象とした啓発活動
- ・介護予防や認知症予防の講座を地域の専門職とともに実施し、「気くばりさん」や「ほ おっちょけん」の広報活動

② 高校生施設ボランティア体験学習「ほおっちょけんのススメ」の実施

平成28年度も引き続き、日常生活の中で、身近な地域でボランティア活動が継続するような人材育成、また、こうち笑顔マイレージ事業とからめ、高齢者と高校生の世代間交流を目的として実施した。

〈内容〉高校生が自分で通える身近な施設に通い,受入体制は,事業所とこうち笑顔マイレージボランティア登録者が行う。

〈期日〉平成28年7月21日 事前学習

7月25日~8月10日 体験学習

8月17日 事後学習

〈会場〉重症心身障害(児)者施設 土佐希望の家

こうち笑顔マイレージボランティア活動受入事業所

デイサービス「希月」「風の大地」「リーズ」「ふれあい」

〈参加人数〉 5名

〈参加高校〉 4校(高知春野高等学校,高知工業高等学校,土佐塾高等学校,高知学園)

〈効果〉施設での活動の前後には研修会を設け、ボランティア活動とは何かコミュニケー ションとは何か、また活動を通して気付いたことや感想を共有することができた。

③ 「ほおっちょけんバッジ」の普及・「気くばりさん」の登録の推進強化

平成28年度も引き続き「ほおっちょけんバッジ」の製作・配布を行い,"ほおっちょけん"想いの啓発を推進した。地域の中では「ほおっちょけんバッジ」を付けていた高齢者を「ほおっちょけんストラップ」を持っている小学生が手助けした事例等があり, "ほおっちょけん" 想いの広がりがみられた。

「ほおっちょけんストラップ」は、平成28年度は「ふれあい体験学習」(障害者福祉センター主催)の対象者全員に配布し、さらに「ほおっちょけん学習」や「高校生施設ボランティ

ア体験学習」等でも配布するなど、啓発に努めた。

〈ほおっちょけんバッジ配布個数〉

853個

累計6,134個

〈ほおっちょけんストラップ配布個数〉

5,281個

〈気くばりさん登録者数〉

年度	登録数
28	386名
27	311名
26	136名

④ ほおっちょけん学習(学生・地域住民・専門職等が連携し共に学び,育む,福祉教育)

住民と協働した「ほおっちょけん学習」について、学校や地域で積極的に実施。成長の 段階に応じて「ふくし」を学ぶ機会として、各学校と協働した取組も増加している。

高齢者疑似体験や地域の民生委員や福祉委員等から生徒たちにメッセージを届け、高齢者の尊厳や自分や周囲への「ほおっちょけん想い」の啓発に努めた。平成28年度は、保育園や学校と共に初めて"こどもの居場所 えいや家"でも実施し、世代間交流を行う場等、対象者の広がりを持てた。

〈ほおちょけん学習〉5団体(保育園 1, 幼稚園 1, 小学校 2, えいや家 1)

⑤ その他の福祉教育

- ・潮江中学校(防災プロジェクト)と南海中学校(NSP~南海サバイバルプロジェクト~)の両校生徒間の情報交換・交流の場づくり(地区社連情報交換会南部ブロック)
- ・春野高校の生活クリエイト系列「社会福祉基礎」にて、担当の先生と連携した授業を 実施
- ・太平洋学園高等学校『福祉入門』での愛宕商店街を題材とした地域福祉授業の実施

〈福祉教育に関する活動 実施回数〉

28年度	実施回数
未就学児	2回
小学校	6回
中学校	1回
高等学校	4回

(3) ボランティアセンター事業の推進

① ボランティアセンターの機能強化

ア. ボランティア活動団体の連携促進「ボランティア活動連絡会」

地域福祉を推進する中,既存のボランティア活動を支援し情報を共有することは地域 ケアネットワーク構築のためにも必要であるため,平成28年度より,本協議会のボラン ティア活動保険加入団体に対して「ボランティア活動連絡会」を開催。

〈内容〉各団体の活動内容や困り事,工夫している事などの情報交換 グループワーク (他団体へのアドバイス等)

〈日時〉 平成 29 年 2 月 25 日(土)10 時~12 時

〈場所〉保健福祉センター

〈参加者〉11 団体計19名

〈効果〉ボランティア団体がお互いの活動を知り、それぞれの悩みや工夫などを共有することで自分たちの活動継続へつながる情報を得る機会となった。また、当日こども食堂を運営している団体と地域のボランティア団体や食生活改善推進協議会が当日つながり、翌日のこども食堂にて連携して運営することができた。本協議会としても、各ボランティア団体の活動を知ることで、ボランティア情報の発信やマッチングすることができる。

イ. ボランティア活動保険の加入促進

年度	団体数	加入者数	
28	86	5,090名	
27	67	4,840名	
26	82	4,692名	

② こうち笑顔マイレージ(受託事業)の推進

平成26年度より住民同士の助け合い・介護予防を目的とし、ボランティア活動やいきいき百歳体操に参加することでスタンプを押印、ポイント数に応じて商品券等に交換できる事業を高知市から受託した。

ボランティア活動としては,受入介護保険施設等で,利用者の話し相手,将棋,施設周囲の草引きを行うなど,手軽に,また自身の趣味を活かした活動内容となっている。

健康づくり活動は、いきいき百歳体操への新規・継続参加を促す取組として、各会場の 参加者数(活動頻度等)の把握にもつながっている。

また,介護予防活動支援推進事業として,いきいき百歳体操実施会場に対する助成金交付も実施し,介護予防に対する取組の継続と拡大を目的に支援を継続している。

〈ボランティア活動〉

年度	受入施設	登録者数
28	141	322名
27	119	268名

〈健康づくり活動〉

年度	登録会場	登録者数		
28	329	5,976名		
27	291	5,086名		

〈介護予防活動支援推進事業〉

年度	登録会場	助成金交付会場	
28 276		270	
27	248	236	

③ 災害ボランティアセンターの運営協力団体との連携強化,運営資機材の確保

災害ボランティアセンターは、災害後の生活復旧活動の拠点として、被災者のニーズと 災害ボランティアのマッチング・調整を目的として市町村単位に設置するものであり、設 置・運営主体の市町村社会福祉協議会がボランティア関係団体に呼びかけ、あらゆる関係 組織との協働を行うこととなる。

本協議会では、平成21年度に本協議会・高知青年会議所・NPO高知市民会議の三者が 基本協定を締結し、運営会議活動マニュアルを整備した。

平成27年度に引き続き,三者及び日本赤十字社高知県支部等に参画いただき,研修会や情報交換を実施した。

また、平成27年度から本協議会内で立ち上がった災害対策検討委員会とも連携した職員 研修も企画し、災害時における本協議会職員としての役割について検討を重ねるきっかけ となった。

〈平成28年度 研修会実績〉

開催日	内容	講師・アドバイザー	出席者数
H28. 6. 13	熊本地震への各機関の関わり	NPO 高知市民会議 山﨑水紀夫 理事	24 名
Н28. 7. 7	各機関の強み・弱み・期待する事	NPO 高知市民会議 山﨑水紀夫 理事	21 名
H28. 9. 11	災害 VC 運営模擬訓練,クロスロード	NPO 高知市民会議 山﨑水紀夫 理事	60 名

参加団体:高知青年会議所・NPO高知市民会議・日本赤十字社高知県支部・高知県社会福祉協議会・高知市社会福祉協議会

(4) 共同募金事業の推進

① 共同募金の推進

◆募金実績額

区 分	平成28年度	平成27年度
赤い羽根募金	32, 368, 882 円	33, 195, 855 円
歳末たすけあい募金	12, 420, 816 円	12, 760, 216 円
合 計	44, 789, 698 円	45, 956, 071 円

◆高知市支会理事会等

◆高知市支会理事会等					
H28. 5. 7	街頭募金				
	目的:平成28年熊本地震義援金のため				
	高知市社会福祉協議会が大規模災害時の3者協定を結んでいる高知				
	青年会議所,NPO高知市民会議のほか,福祉教育等で関連のある				
	春野高校生が募金ボランティアで参加				
H28. 6. 22~H28. 6. 23	第7回赤い羽根全国ミーティング IN 宮城				
	【じぶんの町を良くする会議】				
	参加と協働による「新たなたすけあい」の創造				
	~共同募金における運動性の再生~				
H28. 8. 16	平成28年度第1回理事会				
	(議題)				
	(1) 平成27年度高知市支会事業報告				
	(2) 平成27年度高知市支会寄附金会計及び事務費会計収入・支出				
	決算報告				
	(3) 平成28年度共同募金目標額の設定について				
	(報告事項)				
	(1) 熊本地震義援金街頭募金の報告				
	(2) その他				
	・事務改善策の状況について				
	・高知県共同募金会から企業への募金依頼について				
H27. 9. 20	平成28年度高知県共同募金会高知市支会研修会(台風で延期)				
	【共同募金から協働募金へ ~こどもと共に取り組もう~】				
H28. 11. 12	第26回 布師田ふれあい展				
	寄附付き商品(わた菓子)販売				
H28. 12. 10	街頭募金				
	テーマ【福祉教育の場としての共同募金活動】				
	太平洋学園高等学校生(DAC)が募金ボランティアで参加				

H29. 3. 9

平成28年度第2回理事会

(議題)

- (1) 理事の選任と役員改選について
- (2) 共同募金の実績と配分(案)について
- ①平成28年度共同募金(一般募金)実績と平成29年度配分(案)について
- ②平成28年度歳末たすけあい募金の実績と配分について
- (3) 平成29年度 高知市支会寄附金会計及び事務費会計収入・支出 予算(案) について

(報告事項)

- (1) 共同募金委員会移行について
- (2) 平成29年度の事務費交付金について
- (3) 災害見舞金について (議題)

平成28年度第1回研修会~配分について考えよう~

- (1) 赤い羽根共同募金の歴史と基礎
- (2) 赤い羽根全国ミーティングの報告 ~福祉教育について~
- (3) グループワーク
 - ①自己紹介
 - ②「配分で困っていること, 気になっていること」 「配分で工夫していること, これから取り組みたいこと」
 - ③発表・共有
- (4) まとめ・アンケート記入♪赤い羽根共同募金70周年 DVD 上映♪

② 共同募金事業の改革(新たな取組について)

ア. 寄付つき商品(わた菓子)の販売

布師田地区の方々にご協力いただき、地区のふれ あい展に出店、わた菓子の販売を行った。売上金全 額が共同募金への寄付となる初めての試みであった が、たくさんの参加者に購入していただき、共同募 金の周知にもつながった。



イ. 街頭募金の実施

5月に熊本地震義援金のための街頭募金を実施した。本協議会が大規模災害時の3者協定を結んでいる高知青年会議所・NPO高知市民会議や春野高校募金ボランティアの協力もあり、2時間で100,408円の実績があった。

12月にはテーマを「福祉教育の場としての共同募金活動」として,太平洋学園高等学校ボランティアグループ DAC の協力を得て街頭募金を実施した。はじめての試みとして70周年記念ソングを流し,高知県共同募金会の協力でお子様向けに風船を配り,共同募金の周知に努めた。2時間弱の募金活動で27,545円の実績があった。





ウ. 赤い羽根全国ミーティングへの参加

宮城県で開催された第7回赤い羽根全国ミーティングに高知市支会事務局として2名で参加した。70周年の節目を迎えた共同募金であるが、元来有する運動性が失われつつある。「地域福祉の推進」と「寄附文化の発展」を図るものであるという当初の目的の達成に向けた運動性の再生の必要がある。そのために、参加と協働による組織運営、地域ニーズを反映した助成計画と募金運動が連動する仕組みづくり、募金及び助成の活性化と循環の仕組みづくりの実現の必要性を感じる良い機会となった。

エ. ほおっちょけん授業の実施(赤い羽根 Ver)

赤い羽根共同募金は、子どもから高齢者まで全ての地域住民が参加できる身近な社会 貢献の仕組みであり、次の世代に継承していくことが重要である。そのため、小・中・ 高・大学生を対象に、「学び」「集め」「振り返り」を体験することでたすけあいの気 持ちが一人一人に芽生えることを目的とする、ほおっちょけん授業(赤い羽根 Ver)を 企画した。

(5) その他の事業

① 各種助成事業の実施

ア. 名士チャリティ色紙展示即売会収益金等の小規模作業所への助成

県内外の著名人等のご協力により名士チャリティ色紙展示即売会を開催し、即売会の収益金と民生委員児童委員の「まごころ銀行」への預託金を合わせて、在宅で生活する障害者に就労の機会を提供する事業所または職業訓練及び日常生活訓練を行う通所型事

業所に助成した。

◆平成28年度名士チャリティ色紙展示即売会開催状況

第1回 平成28年11月10日~11月12日(文化プラザかるぽーと)

第2回 平成29年1月6日・1月7日 (保健福祉センター)

第3回 平成29年2月15日~24日

平成28年度高知市民児連ブロック研修会(サンピア・セリーズ,高知会館)

◆色紙売上状況

年 度	枚数	金額
28	295枚	1,461,700円
27	269枚	1,538,626円
26	224枚	1, 350, 459円

◆平成28年度助成状況

平成27年度収益金の配分委員会を平成28年8月25日に開催し、7事業所に総額800,000円を助成した。

イ. 各種団体等の活動への支援

*高知市老人クラブ連合会:囲碁・将棋大会,健康まつり,連合会運営費への助成

*障害者団体:高知市身体障害者連合会(身体障害者大運動会への助成・高知県肢体

障害者協会(車いす用リフトバス助成)

*高知市青少年育成協議会:活動助成

*高知市青蘭会:活動助成

*高知市ボランティア連絡会:活動助成

*四国地域福祉実践セミナー実行委員会:活動助成

ウ. まごころ銀行からの助成

多くの方々からまごころ銀行に預託していただいた預託金をもとに, 記念品を贈り激励した。

- ・ひとり親家庭新入学児童を祝う会(小学生13名)
- ・施設児童生徒の修学旅行助成金(小学生15名・中学生11名)
- ・施設生徒の中高生卒業を祝う会(中高生26名)

② 福祉機器等の貸出し

市民や各団体から寄贈された福祉機器等を、貸出しが必要な低所得世帯や制度上のサービスを受けられない方々を対象に、無料で短期間(原則1か月)の貸出しを行い、在宅生活を支援した。また、地域の祭りやイベント等で使用するため、地域の団体等に綿菓子機、かき氷機の貸出しを行った。

*貸出物件:車いす・綿菓子機・かき氷機

③ 高知弁護士会の協力により毎月第3金曜日に無料の法律相談を実施

高知弁護士会の協力を得て無料法律相談を行った。

*実施日時・場所 毎月第3金曜日 午後1時~3時 ニッセイ高知ビル2階

*相談員 弁護士 毎月1名

◆相談件数

		平成2	8年度		平成2	7年度
相談事項	男	女	計	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
生計	0	0	0	0.0	0	0.0
年金	0	0	0	0.0	0	0.0
住宅	1	0	1	2. 9	1	2.6
結 婚	0	0	0	0.0	0	0.0
離婚	3	8	11	32. 4	7	18. 4
精神保健	0	0	0	0.0	0	0.0
財産	9	5	14	41.2	13	34. 2
事故	1	0	1	2.9	2	5. 3
苦情	0	0	0	0.0	0	0.0
その他	4	3	7	20.6	15	39. 5
合 計	18	16	34	100.0	38	100.0

◆年度別相談件数

年	度	23	24	25	26	27	28
件	数	38	39	35	34	38	34

3. 福祉サービス利用支援等の推進

(1) 成年後見サポートセンター事業

成年後見制度や日常生活自立支援事業についての問合せや、個別のケースについて具体 的な相談等が寄せられた。相談を受けた後必要なケースについては、後見申立て等の支援 を行った。

① 初期相談件数 (問合せ・相談援助件数)

平成28年度													
内	容			分	類			合					
		本人	家族・親族	友人・知人	関係機関	後見人等	その他	計					
相談者	28 年度	34	93	9	277	5	94	512					
	27 年度	17	106	2	278	4	70	477					
相談		認知症 高齢者	知的障害者 精神障害者 (高次脳機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
対象者	28 年度	167	39	43	33	44	186	512					
	27 年度	202	31	47	30	43	124	477					

② 相談援助に関する件数

相談援助に関する件数については、より実数の把握が行えるよう項目の見直しを行った。

	相談援助内容		28年度累訂	†
	怕談援助內台	新規	継続	計
1	成年後見制度に関すること	182	140	322
2	任意後見制度に関すること	51	79	130
3	日常生活自立支援事業に関すること	155	297	452
4	市長申立に関すること	9	13	22
5	申立支援	3	8	11
6	後見人候補者の推薦	0	5	5
7	専門家への紹介	10	33	43
8	後見人サポート(利用中の相談)	10	8	18
9	法人後見受任依頼	2	16	18
10	情報提供	50	22	72
11	書類配布・出前講座・視察の依頼	28	26	54
12	研修・会議への参加依頼	3	49	52
13	その他	158	102	260
	合計	661	798	1459

③ センターが関わり後見人等へつながったケース

内容件数	成年後見開始審判確定件数	任意後見契約数
28年度	12	3
27年度	10	

④ 法人後見受任状況について

平成28年度の新規受任ケースは2件(後見1件,保佐1件),終了ケースは被後見人の死亡が1件,未成年後見が被後見人の成年に伴う終了が1件の計2件であった。平成28年度末現在,被後見人が7件,被保佐人が3件となっている。被後見人については,本人への支援はもちろん,関係機関との連携や個別支援会議への参加が多く行われている。被保佐人については,本人の思いに寄り添い本人とともに心配ごとや課題を解決する支援が中心となり,訪問や来所が多い現状にある。困難なケースについては高知市成年後見サポートセンター運営委員会にて協議し,助言を受け支援に努めた。

件数	類型	後見	保佐	補助	合計
平成18年4月【法人後見開始】から	延受任数	18	2	0	20
	延終了数	10	0	0	10
平成27年度末まで	実受任数	8	2	0	10
亚代00左连	新規受任数	1	1	0	2
平成28年度	終了数	2	0	0	2
	延受任数	19	3	0	22
平成28年度末累計	延終了数	12	0	0	12
	実受任数	7	3	0	10

⑤ 法人後見受任事業における支援件数

類型 件数	後見	保佐	補助	合計
訪問・来所	412	459	0	871
財産管理	360	337	0	697
身上監護	406	323	0	729
連絡調整	579	302	0	881
個別支援会議等	32	8	0	40
その他	32	17	0	49
平成28年度合計	1,821	1, 446	0	3, 267
平成27年度合計	1,835	981	0	2,816

⑥ 広報・啓発活動について(出前講座等)

成年後見制度や日常生活自立支援事業等の権利擁護に関する内容について、地域住民や 医療機関、高齢者分野、障害者分野の関係機関に対し出前講座を実施した。

開催日	出前先	人	数		
H28. 4. 19	三愛病院在宅部研修会		36名		
H28. 6. 24	新屋敷サロン		20名		
H28. 8. 9	とりごえ認知症カフェ	約	月10名		
H28. 8. 20	潮江地区民生委員児童委員協議会夏季研修	· S会 約	160名		
H28. 8. 26	介良地区民生委員児童委員協議会夏季研修	多会	15名		
H28. 9. 9	かがみ笑顔カフェ	約	月5名		
H28. 9. 16	初月地区サロン勉強会				
H28. 9. 21	高知市障害者相談センター職員研修会		10名		
H28. 11. 16	春野地域居宅介護支援事業所・支援センタ	7一勉強会 約	120名		
H28. 12. 7	五台山双葉会老人クラブ		16名		
H29. 1. 26	十津晴海公民館いきいき百歳体操		30名		
H29. 2. 6	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック会	於	165名		
H29. 3. 17	南部地域ケアカンファレンス	約	160名		
H29. 3. 19	H29.3.19 高齢者生活協同組合江ノ口支部研修会				
H29.3.23 一ツ橋小学校ミニデイ					
:	平成28年度合計件数・参加者 15件・427				
	平成27年度合計件数・参加者 17件・411				

⑦ 成年後見セミナーの開催

成年後見制度の普及や利用促進を目的に、地域住民や高齢者・障害者の支援に携わる機関の職員に向けて、成年後見セミナーを開催した。

講座名	開催日	受講者
成年後見セミナー	平成28年11月5~6日(2日間)	117名

⑧ 関係機関との連携

行政職員や弁護士、司法書士、社会福祉士等と支援会議や成年後見・日常生活自立支援 事業調査研究会にて、成年後見制度や日常生活自立支援事業等に関する事例検討や情報交 換を行い、相談機能の強化に努めた。

(2) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対し、自立した地域

生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援に努めた。初回相談件数135件のうち30件が日常生活自立支援事業の契約につながった。また、26件が契約終了となり、解約理由は死亡10件、成年後見人等への移行8件、本人申出5件、その他3件であった。

① 相談・援助件数

		平成28年度										
対象	本	事業の利用	に関するも	· の			平成					
	認知症	知 的	精神	その他	その他	合 計	27年度					
事項	高齢者	障害者	障害者	ての他								
問合せ件数	2	0	1	15	0	18	7					
初回相談件数	71	15	19	30		135	133					
相談援助件数	2, 766	2, 430	2, 777	465		8, 438	8,047					
累計	2, 839	2, 445	2, 797	510	0	8, 591	8, 187					

※ 問合せ件数は、制度や事業についての問合せ(利用契約後の相談件数も含む)

② 契約件数

区	分	認 知 症高 齢 者	知 的 障 害 者	精 神障害者	その他	合 計	+
平成11年10月	延契約数	218	117	43	13	39	91
事業開始から	延解約数	148	45	23	3	2	19
27年度末まで	契約数	70	72	20	10	1	72
平成28年度	契約数	13	6	7	4	;	30
事業実績	解約数	16	8	1	1	•	26
	延契約数	231	123	50	17	42	21
平成28年度末 累計	延解約数	164	53	24	4	24	45
जर पा	契約数	67	70	26	13	1	76

③ 年度別契約件数

年度区分	11 ~ 14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
契約者	31	37	13	20	21	18	23	44	48	18	48	25	22	23	30
解約者	2	13	5	11	10	9	11	8	10	25	27	32	32	24	26
年度末	29	53	61	70	81	90	102	138	176	169	190	183	173	172	176

④ 成年後見制度への移行

判断能力の低下等により日常生活自立支援事業の継続が困難となった利用者8名につい

て,成年後見制度につないだ。

⑤ 新サービスの検討

センターに寄せられる相談や、日常生活自立支援事業を実施していくなかで見えてきた 課題を解決するために、先進地社協への視察や地域住民等へのアンケートを通じ新サービ スの創設を検討した。その結果、判断能力がある単身で身寄りがない方を対象とした、判 断能力低下後や死亡後の支援を、これからあんしんサポート事業として平成29年度より開 始するための検討を行った。

(3) 生活福祉資金貸付等事業

第2のセーフティネットとして低所得世帯や障害者世帯等の自立を支援するために地区民児協の協力を得て貸付けを行った。また、高知市社会福祉金庫資金の貸付金回収等を行った。

① 生活福祉資金貸付状況

(単位:円)

	L. D. 亚貝门 //				平	成28年度		· 成27年度
	資 金 科	重 別			貸付 件数	貸付金額	貸付 件数	貸付金額
	生 活	支	援	費	1	100, 000	0	0
総合支援	住 宅	入	居	費	0	0	0	0
資 金	一 時 生	上 活	再 建	費	0	0	0	0
	小			計	1	100, 000	0	0
	福	祉		費	33	10, 580, 000	24	7, 385, 000
福祉資金	緊急	小口	資	金	15	1, 421, 000	7	614, 000
	小			計	48	12, 001, 000	31	7, 999, 000
教 育	支	援	資	金	38	13, 230, 000	20	6, 973, 000
不動産担	不動産技	14 保型	生活資	金	0	0	0	0
保型生活資金	要保部不動産担		帯 向生活資	け 金	0	0	0	0
工心员亚	小			計	0	0	0	0
臨時物	・ 例 つ	な	ぎ	金	0	0	0	0
	一時生	上 活	支 援	費	0	0	0	0
生活復興	生 活	再	建	費	0	0	0	0
支援資金	住 宅	補	修	費	0	0	0	0
	小			計	0	0	0	0
	合	計		_	87	25, 331, 000	51	14, 972, 000

[※] 金額は、貸付決定金額

※ 生活復興支援資金は、東日本大震災の特例措置として平成23年度から新設

③ 貸付状況について

平成21年10月の制度改正により、保証人要件の緩和と貸付利子の引き下げを行うと共に、厳しい雇用経済情勢に対応するため総合支援資金が創設されたことで、それ以降の相談件数・貸付件数ともに大幅に増加した。経済状況の落ち着きに合わせて、全体的な相談・貸付件数とも減少傾向となっているが、生活支援相談センターの設置により、相談者への支援手段の一つとして当貸付制度利用を検討する機会は増えつつあり、緊急小口資金の件数が増えてきている。

④ 年度別貸付実績·相談件数

年度区分	20	21	22	23	24	25	26	27	28
相談件数	484	3, 745	8, 601	7, 677	5, 936	5, 133	5, 099	4, 205	4, 204
貸付件数	26	322	275	247	214	175	80	51	87
貸付決定額 (千円)	22, 235	176, 016	172, 059	217, 562	155, 773	150, 934	54, 249	14, 972	25, 331

⑤ 月別相談件数

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
28	335	331	350	290	364	390	365	371	374	313	340	381	4, 204
27	388	302	327	253	412	443	407	354	355	247	355	362	4, 205

⑥ 平成28年度高知市社会福祉金庫償還状況

(円)

区 分	期首	貸付残高	当 期	償 還 額	期末	貸付残高		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
生活福祉資金	2	186, 060	1	33, 150	1	152, 910		
小口資金	4	35, 810	1	23, 130	3	12, 680		
生活指導費	1	0	1	0	0	0		
合 計	7	221, 870	3	56, 280	4	165, 590		

(4) 高知市障害者相談支援事業の推進

障害者総合支援法に基づく「高知市障害者相談支援センター北部」(以下「センター」という。)を高知市から受託し、平成27年4月1日から高知市北部地域の障害児・者や家族・関係者に対する総合相談窓口として事業を開始した。

事業開始2年目となり、センターの周知も少しずつ進み、関係機関からの相談も増えてきた。 28年度は27年度に比べ対応件数は微減したが、支援内容については増加しており、1件に係る 困りごとや課題が複合的であり、本人の自主性を尊重しながら解決に向けての支援に努めた。 また、チラシの配布や、関係機関への出前講座を実施し広報・啓発活動を行った。

◆高知市障害者相談支援センター北部の活動について

〈障害種別及び対応件数〉

	平成 2	8 年度	平成 2	7 年度	
障害種別	対応件数	(463件)	対応件数(511件)		
	障害児 125 名	障害者 338 名	障害児 120 名	障害者 391 名	
身体障害	1 81		4	136	
重症心身障害	7	5	6	13	
知的障害	23	49	25	50	
精神障害	2	80	3	60	
発達障害	53	14	51	21	
高次脳機能障害	0	4	0	6	
難病	1	8	3	13	
身体・知的	0	4	1	8	
身体・精神	0	9	1	14	
知的·精神	3	9	1	4	
知的・発達	10	3	15	3	
その他	4	14	3	19	
匿名・詳細不明	21	58	7	44	

〈支援内容〉

支援の内容	平成28年度	平成27年度
福祉サービスの利用等に関する支援	4, 591	3, 987
障害や病状の理解に関する支援	72	64
健康・医療に関する支援	903	314
不安の解消・情緒安定に関する支援	1, 137	415
保育・教育に関する支援	121	80
家族関係・人間関係に関する支援	404	52
家計・経済に関する支援	601	138
生活技術に関する支援	140	22

就労に関する支援	1, 563	769
社会参加・余暇活動に関する支援	696	268
権利擁護に関する支援(虐待相談含む)	21	7
住居支援	21	28
その他	1, 302	1, 910
合 計	11, 572	8, 054

◆出前講座について

(5) 生活困窮者支援の推進

① 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の複合的で深刻な相談に対応し、その相談者が抱える課題を把握するととも に、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認することを通じて個々の状態に応じ た支援計画の作成等を行い、関係機関との連携を含めた包括的な支援を実施した。

ア. 初期相談実績

		初期相談件数							
	本	本人		・知人	関係機関・	til	∧ ∌I		
	電話	来所	電話	来所	関係者から の紹介	その他 (メール等)	合計		
平成28年度 累計	140	176	31	21	247	2	617		

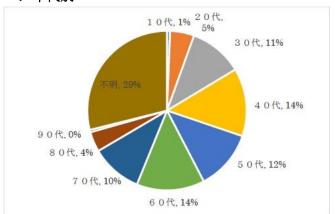
イ. 月別初期相談件数



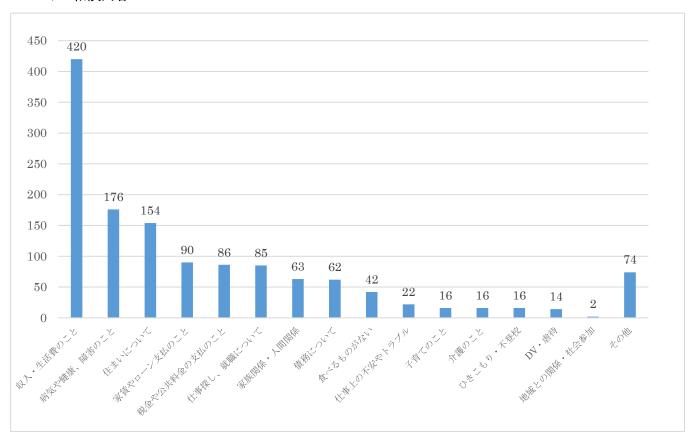
ウ. 男女比率



工. 年代別



才. 相談内容



② 一時生活支援事業

平成27年7月1日から、住居を持たない生活困窮者に対し、借り上げ住宅(シェルター)への受け入れを行い、緊急的に衣食住の提供を行うとともに生活再建や就労自立に向けた支援を実施した。

また、事業利用中の就労支援を推進することで、就労収入による新たな住居確保につながる支援を行った。就労自立支援は転居費用に一定期間を要するため、生活保護を受給し、住居が見つかるまでの期間を利用することが主な目的であった前年度に比べて、利用日数が一件あたり約24.3日から約49.2日に増加した。

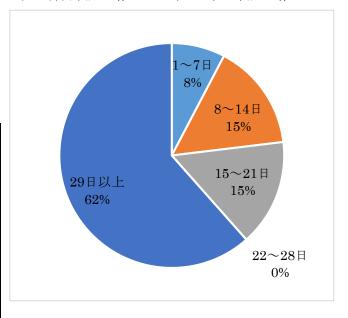
ア. 入居実績

<u> </u>	
	平成28年度累計
入居件数	16件
入居人数(延べ)	16名

イ. 入居者別年齢内訳(名)

類型 年代	単身世帯	複数世帯 (母子・ 親子世帯の受入)
10歳以下	0	0
10代	0	0
20代	1	0
30代	6	0
40代	3	0
50代	4	0
60代	0	0
70代	1	0
80代	1	0
90代	0	0
合 計	16	0

ウ. 合計利用日数<退去者 15 名の利用日数>



エ. 利用日数(日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月別 日数	69	98	115	64	61	71	21	14	17	59	65	84
延べ 日数	69	167	282	346	407	478	499	513	530	589	654	738

オ. 退去後の状況別分類(平成28年度退去件数15件を分類)

状況	件数
新たな住居確保に至った (生活保護による)	9
新たな住居確保に至った(生活保護以外)	3
入居中のアセスメントにより帰来先(元の家)に戻った	1
自立相談支援の継続を断り、自らの意思で退去した	2

4. 在宅福祉サービスの推進

介護保険指定事業者として、居宅介護支援事業及び介護予防支援(受託事業),通所介護事業及び介護予防通所介護事業(総合事業含む),訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業(総合事業含む),による在宅福祉サービスを実施し、要援護者(高齢者)の自立した生活と社会参加の推進に努めた。

(1) 介護保険事業の推進

① 居宅介護支援事業の推進

居宅サービス等を適切に利用できるよう要介護者の心身の状況,本人や家族の希望等を 受けて介護サービス計画を作成し,サービス確保のため事業者等との連絡調整等に努めた。

◆平成28年度居宅介護支援事業延利用者数

(単位:人)

事業所	塩田町		土存	左山	春	野	合 計		
年度	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	
28	276	134	325	119	478	156	1, 079	409	
27	403	122	286	85	531	179	1, 220	386	
増減	△127	12	39	34	△53	△23	△141	23	

※予防:総合事業を含む

② 通所介護事業の推進

平成28年4月より、地域の利便性の向上を図るため、土佐山センターたきゆりでも土曜日の事業を開始し、デイサービスセンターふれあい、土佐山センターたきゆり及び介護センターあじさい会館において、入浴、食事、日常の動作訓練等の各種サービスを実施し、在宅要援護高齢者に対する生活支援を行った。

また、要介護認定で非該当と判断された者を対象に、心身機能の維持向上を図り、要介護への進行を予防する生きがいデイサービス事業を実施した。

◆平成28年度通所介護事業延利用者数

(単位:人)

事業所	ふれあい		土佐山		春野		合 計	
年度	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
28	5, 227	1,709	3, 649	536	7, 499	1,674	16, 375	3, 919
27	5, 010	1, 496	3, 173	504	8, 064	2, 019	16, 247	4, 019
増 減	217	213	476	32	△565	△345	128	△100

※予防:総合事業を含む ※生きがいデイサービスを除く

③ 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業の推進

日常生活を営むのに支障がある要援護者(高齢者)世帯に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護、生活援助等のホームヘルプサービスを行った。

◆平成28年度ホームヘルパー派遣時間と件数【塩田町事業所】

(単位:時間)

年		ĵ	`	護		予防				
度	派遣		派遣	時 間		派遣		派遣	時 間	
及	回数	身体	生活	身体	合計	回数	予防 I	予防Ⅱ	予防Ⅲ	合計
	í I	介護	援助	生活	ī	í I	1 193 2	, 19, 1	, 19, 11	п и і
28	3, 218	458	3, 546	1,018	5, 022	2, 131	1, 236	868	13	2, 117
27	3, 541	381	2, 647	874	3, 902	2,824	1, 501	1, 168	153	2,822
増減	△323	77	899	144	1, 120	△693	△265	△300	△140	△705

◆平成28年度ホームヘルパー派遣時間と件数【春野事業所】

(単位:時間)

年		介		護			予		防	
度	派遣		派遣	時 間		派遣		派 遣	時 間	
及	回数	身体	生活	身体	合計	回数	予防 I	予防Ⅱ	予防Ⅲ	合計
	凹奴	介護	援助	生活	(時間)	凹奴	ד בעון לן	ד נימו גו	די לען יל	(時間)
28	2, 493	341	1, 509	629	2, 479	1,022	445	537	65	1,047
27	2, 285	391	1, 247	470	2, 108	1,065	415	591	125	1, 131
増減	208	△50	262	159	371	△43	30	△54	△60	△84

(2) 障害者総合支援事業

① 居宅介護等事業の推進

障害福祉サービス事業の指定サービス提供事業者として、居宅介護事業等(ホームヘルプサービス)、生活介護事業及び就労継続支援B型事業等の実施により、障害者福祉の向上に努めた。

◆平成28年度ホームヘルパー派遣時間【塩田町事業所】

(単位:時間)

年			居宅介護			同	移動	
度	身体介護	通院介助 (身体なし)	通院介助 ^(身体あり)	家事援助 合計		(身体なし)	(身体あり)	支援
28	298	107	1,877	1, 833	4, 115	1,779	1,012	169
27	141	196	320	1, 768	2, 425	848	1, 360	186
増減	157	△89	1, 557	65	1,690	931	△348	△17

◆平成28年度ホームヘルパー派遣時間【春野事業所】

(単位:時間)

年			居宅介護		同行	援護	移動	
度	身体介護	通院介助 (身体なし)	通院介助 (身体あり)	家事援助	合計	(身体なし)	(身体あり)	支援
28	197	0	91	170	458	6	778	0
27	158	0	81	242	481	192	772	0
増減	39	0	10	△72	△23.0	△186	6.0	0

② 生活介護等事業の推進

ア. 生活介護事業

南部障害者福祉センターにおいて,介護を必要とする障害のある方を対象に,通所サービスを通じ、閉じこもりになりがちな生活を見直し、さまざまなプログラムを通じて、社会活動への積極的な参加を図った。

◆南部生活介護事業実施状況

実施		利用	月者延ん	人数	入浴サービス利用者延人数			
十段	年度 日数		女	計	男	女	計	
28	309	2, 205	2, 733	4, 938	1, 281	1, 512	2, 793	
27	310	2, 506	2, 572	5, 078	1, 578	1, 508	3, 086	
増減	△1	△301	161	△140	△297	4	△293	

イ. 日中一時支援事業

南部障害者福祉センターにおいて、生活介護の利用要件を充たしていない障害のある 方等の日中における活動の場の確保や、その家族の就労継続支援、日常的に介護してい る家族の一時的な休息等を目的として実施した。

◆南部日中一時支援事業実施状況

年度	実施	利用	1 者 延 .	人数	入浴サービス利用者延人数			
一	日数	男	女	計	男	女	計	
28	309	113	162	275	26	52	78	
27	310	96	184	280	15	49	64	
増 減	△1	17	△22	△5	11	3	14	

③ 基準該当生活介護事業の推進

デイサービスセンターふれあい及び土佐山デイサービスセンターにおいて,指定通所介護事業所の余裕定員を活用し,介護を必要とする障害のある方を対象に,通所サービスを通じ,閉じこもりになりがちな生活を見直し,さまざまなプログラムを通じて,社会活動への積極的な参加を図った。

◆ふれあい生活介護事業実施状況

年度	実施	利月	月者延ん	人数	入浴サー	ビス利用	者延人数
十段	日数	男	女	計	男	女	計
28	105	106	0	106	106	0	106
27	106	106	0	106	105	0	105
増 減	△1	0	0	0	1	0	1

◆土佐山生活介護事業実施状況

年度	実施	利用	月者延ん	人数	入浴サー	ビス利用	者延人数
十段	日数	男	女	計	男	女	計
28	253	253	0	253	153	0	153
27	262	257	0	257	154	0	154
増 減	△9	$\triangle 4$	0	$\triangle 4$	$\triangle 1$	0	△1

④ 就労継続支援B型事業の推進

働く意欲を持ちながら雇用されることが困難な身体障害者や知的障害者等に対して、働く場を提供し、作業体験、生活体験、仲間との交流・親睦等を通して、働くことの喜びや連帯感、自立心、向上心、社会性等を育みながら、地域社会の一員として日常生活が送れるように、自立を援助する事業を実施した。

◆利用者定員 20名

◆活動内容 ティッシュペーパー・お産用パットの袋詰め、除草作業、清掃、救急医療 情報キット・名刺の製作

ほおっちょけん関連 … ポロシャツの制作・販売

農業事業関連 … 平成29年度から長浜の農地において本格的に野菜の栽培 を開始

◆主な施設行事

年月日	行 事	場所(参加者)
H28. 5.27	春の遠足	西島園芸団地,あぐり窪川(18名)
H28. 6.28	DVD鑑賞	障害者福祉センター2階(16名)
H28. 8.26	調理実習	障害者福祉センター2階(23名)
H28. 10. 28	秋の遠足(雨天のためセンター食堂での焼肉昼食会)	障害者福祉センター1階食堂 (23名)
H28. 11. 14	健康診断14日~25日	山村病院(29名)
H28. 11. 28	きずなスポーツ大会	きずな作業場 (21名)
H28. 12. 14	餅つき会	きずな作業場・駐車場(19名)
H28. 12. 28	大掃除・仕事納め会	きずな食堂 (22名)
H29. 1.30	りんご寄贈式	総合あんしんセンター (2名)
H29. 2. 3	カラオケ大会	カラオケG&G(19名)
H29. 3.17	DVD鑑賞	障害者福祉センター2階(22名)
H29. 3.31	花見会(雨天のためセンター 食堂での昼食会)	障害者福祉センター1階食堂 (22名)

◆工賃の状況

年 度	平均月額工賃(1人当たり)	対前年	対前年比
28	11,895円	977円増	109%
27	10, 918円	1,148円増	112%
26	9,770円	341円増	104%
25	9, 429円	1,473円減	119%

⑤ 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業

平成27年4月1日から「社会福祉法人高知市社会福祉協議会障害者相談支援センター」を開所,平成28年4月に「高知市特定相談支援センター「しゃきょう」に名称変更し,① 指定特定相談支援事業②指定障害児相談支援事業③指定一般相談支援事業の3つの事業を通じ,障害児・者等が生活を営む上で発生する様々な課題を解決に導けるよう配慮しながら,基本相談やサービス利用計画作成支援等を実施した。

また, 高知市の障害者福祉サービスの支給決定に係る調査業務を受託し, 各調査を実施した。

◆相談支援事業 支援状況

月	特定相	談支援	障害児相談支援		一般相談支援	
年度	計画書作成	モニタリング 実施	計画書作成	モニタリング 実施	地域移行 支援	地域定着 支援
28	75	161	5	4	0	0
27	73	20	3	2	0	0

◆高知市委託事業 調査実施状況

対象者年度	障害者	障害児
28	74	4
27	72	3

(3) 受託事業

① 生きがいデイサービス事業

生活指導(相談援助等),機能訓練(いきいき百歳体操),健康状態の確認,送迎,給食等のサービスにより,高齢者の介護予防と社会参加に努めた。

◆平成28年度生きがいデイサービス延利用者数 (単位:人)

事業所年度	土佐山	春野	合 計
28	961	0	961
27	1, 140	16	1, 156
増 減	△179	△16	△195

[※]春野は平成28年度から生きがいデイの利用対象者がいないため終了となる。

② 外出支援サービス事業

高知市からの受託事業として,土佐山地区において自宅から医療機関への通院支援等, 高齢者が住み慣れた地域で生活していくための支援を行った。

◆平成28年度外出支援サービス事業延利用者数

年度	利用者数	延利用者数	延時間	月平均利用者数
28	206	1, 134	1, 546	17. 17
27	229	1,080	1,671	19. 08
増 減	△23	54	△125	△1.91

[※] 延時間については、30分未満は切捨て、30分以上は切上げ

③ 介護保険・居宅介護給付外有償サービス

ア. 制度外の訪問介護等支援

介護保険制度や居宅介護事業等,訪問介護事業所として実施しているサービスの利用者に対して,利用者や家族の緊急又は突発的な事由若しくは従来のサービス内容では補えない場合にケアマネジャー等の意見に基づき,1時間1,800円で派遣した。

◆平成28年度利用者数

(単位:人)

		塩田町	春野	合 計
28	利用者数	61	13	74
利用時間	176	32	208	
27	利用者数	56	3	59
27	利用時間	118.5	3	121.5

(4) 障害者福祉の推進

① 障害者社会参加促進事業

市民が障害者理解を深めるための広報及び啓発活動を行い、障害のある人の社会参加が 図れるよう教室、講座を実施した。

ア. ふれあいネットワーク事業

*広報誌「こうちノーマライゼーション Vol. 42」の発行 発行部数3,000部 特集「障害者スポーツその3」

イ. ふれあい体験学習等の啓発事業

小,中,高等学校生等を対象に、障害のある人に対する理解を深めるための体験学習を実施した。

◆実施回数及び参加者延人数

区分		小学校	中学校	高校	特別支援 学校	一般	合計
	28年度	37	2	4	0	2	45
実施校数等	27年度	32	1	3	1	2	39
	増減	5	1	1	△1	0	6
	28年度	4, 058	306	626	0	66	5, 056
参加人数	27年度	3, 943	103	521	18	25	4,610
	増減	115	203	105	△18	41	446

◆体験種別実施回数

区	分	車いす	アイマスク	点字	手話	要約筆記	その他	合計
	28年度	23	36	9	14	7	7	96
実施回数	27年度	25	33	7	16	5	4	90
	増減	$\triangle 2$	3	2	$\triangle 2$	2	3	6

ウ. ボランティア養成講座

- *「障害者スポーツボランティア養成講座」
 - 〈開催日〉平成29年1月15日(日)
 - 〈会 場〉高知市立第四小学校 体育館
 - 〈参加者〉10名
 - ※ユニバーサルスポーツである「ボッチャ」と、迫力のある攻防が魅力の「電動車 椅子サッカー」を題材として取り上げ、それぞれの支援を学ぶ講座を実施した。

エ. 点訳ボランティア養成講座

- 〈開催日〉平成29年1月18日~平成29年3月29日(毎週水曜日 全10回)
- 〈会 場〉障害者福祉センター 2F 大会議室
- 〈参加者〉10名
- ※点訳についての基礎知識や方法を学ぶ初級講座を実施した

才. 生活訓練事業

- ◆自動車運転準備講座
- *「障害のある人の運転教室」
- 〈開催日〉平成28年7月30日(土)
- 〈会場〉高知県運転免許センター
- 〈参加者〉10名
- ※主に身体障害者を対象に,運転補助器具等を設置した自動車で運転を行い,適性 検査を実施することで,運転免許取得につなげる講座を実施した。

◆調理講習会

- *「うどん打ち体験教室」
- 〈開催日〉平成28年12月11日(日)
- 〈会 場〉障害者福祉センター 2F 料理実習室
- 〈参加者〉6名(+介助者4名)
- ※障害のある方の日常的な食生活の充実・向上を目的として実施。平成28年度は、 教室受講後に趣味として活用出来る講座として、うどん打ち体験を実施した。

◆自己表現力向上講座

- *「障害のある方のボッチャ体験教室」
- 〈開催日〉平成29年3月18日(水)
- 〈会 場〉高知市保健福祉センター 3F 大会議室
- 〈参加者〉10名
- ※障害者スポーツを通して自己表現力を高め、障害者の社会参加促進を図るための 講座を実施した。

◆ I T講習

障害別に少人数で、利用者のニーズに対応した講習を実施した。平成28年度は講習受講者6名がパソコン検定試験に合格した。

〈年間実績〉

年 度	実施回数	実施延日数	実参加者数
28年度	9	110	46
27年度	10	111	47

〈平成28年度 各コース別実績〉

区分	基礎 コ <i>ー</i> ス	応用 コース	検定試験対策	聴覚障害者 対象	視覚障害者 対象
実施回数	4	2	2		1
実参加者数	18	14	11		3

[※]聴覚障害者対象は、応募が無かったため未開催

カ. 文化教室の開催(創作活動)

◆開催状況

区分		障害者福祉 センター	南部健康福祉 センター	合計	内容
実施回数 2	28年度	95	57	152	
	27年度	89	59	148	・書道
	増 減	6	$\triangle 2$	4	・さをり織り ・陶芸
	28年度	447	252	699	・岡云 ・紙粘土 他
参加者延人数	27年度	380	362	742	
	増 減	67	△110	△43	

② 障害者支援窓口事業

ア. 障害者手帳や各種サービスの申請受付及び交付

障害者手帳及び福祉タクシーチケット等の交付、各種申請書の受付等を行った。

◆平成28年度取扱状況

区	分	障 害 者 手 帳 ・ タクシーチケット等 交 付 件 数	その他各種申請等受付件数	計
障 害 者	28年度	292	177	469
福祉センター	27年度	301	148	449
東部健康福祉センター	28年度	275	237	512
	27年度	311	279	590
南部健康福祉	28年度	284	87	371
センター	27年度	315	107	422
春野あじさい	28年度	163	53	216
会 館	27年度	188	74	262
=1	28年度	1,014	554	1, 568
計	27年度	1, 115	608	1,723